



おはなし会をしました

12月22日(木)は冬至です。日の出から日の入りまでの時間が一番短い(夜が長い)日のことです。冬至には、かぼちゃを食べて栄養を取り、ゆず湯にゆっくり浸かって体を温めて寒さを乗り切ろうとする習慣があります。そんな冬至の今日は、2校時に、読み聞かせボランティア「まつぼっくり」の6名の方と、「おはなしドーナツ」の2名の方に来ていただき、おはなし会を行いました。愛媛県が舞台になった絵本「かなしきデブ猫ちゃん」の読み聞かせでした。スクリーンに絵が映し出され、まつぼっくりの6名の皆さんが登人物の声を担当し、子どもたちをお話の世界に引き込んでくださいました。お話を通して、愛媛県の良さや主人公「マル」の成長を感じ取ることができました。本に親しむことは心を耕すことだと改めて感じました。寒期中、8名の皆さま、本当にありがとうございました。



<おはなし会を終えての子どもたちの感想より>

- すごくおもしろかったです。続きも聞きたいです。
- いろいろな猫が出てきてかわいらしかったです。
- 途中で、マルがお腹をすかせていて大丈夫かなと思ったけれど、助かってよかったです。
- マルがいろいろな所を旅するのが、楽しそうでおもしろかったです。
- この絵本は少ししか読んでいなかったのでもっと読みたいと思いました。
- さくらがきれいでした。
- マルと一緒に旅した気分になりました。楽しかったです。
- マルの気持ちが心に響きました。
- 家に帰ったら、家族に話したいです。
- 読んでくれてありがとうございました。これからも続けてください。

読み聞かせの後、感想交流をしました。子どもたちの素直な思いが次々とつながりました。コロナ禍で、全校で集まる集会等が減っていましたが、子どもたちの表現力を高めるためにも、工夫して様々な行事を実施していこうと考えています。